



夕暮れ時に佇むベルモンド ダス カタラタス「Belmond Hotel Das Cataratas」の正面ファサード。イグアス国立公園内ブラジル側にある唯一のホテルで、ポルトガル・コロニアル様式の建物は優美で印象的だ。淡いピンクに彩色されたホテルはスイートを含む全193室を擁し、モノトーンの樹林帯に美しく溶け込んでいる



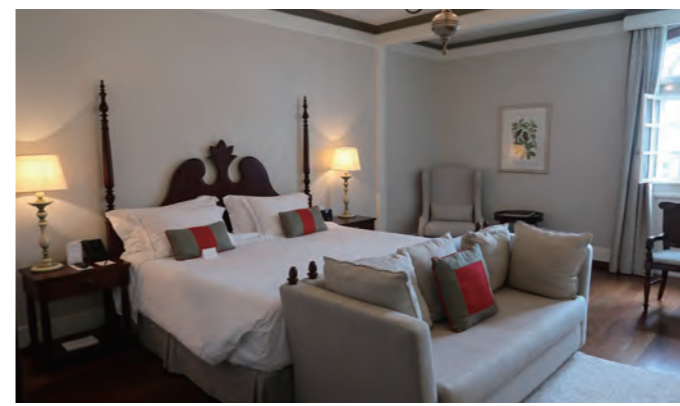
ホテルの目の前にある観覧台から見た轟音が迫るイグアスの滝。「Junior Cataratas Suite」は「Cataratas」の文字通り、付帯したバルコニーからはっきりとイグアスの滝を俯瞰できる位置にある



ポルトガル・コロニアル様式のメインエントランスに立つベルスタッフ



旧宗主国ポルトガルのアズレージョが印象的なレセプションデスク



コロニアルスタイルの本館客室は少々狭いが、この「Junior Cataratas Suite」は約40㎡の広さを確保している



落ち着いたクラシカルな雰囲気「Junior Cataratas Suite」



筆者 **小原 康裕**
国際ホテルジャーナリスト

慶応義塾大学法学部法律学科卒。
1974年 Munich Re 入社。
2001年投資顧問会社原健設立、
代表取締役 CEO。
JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント
協会常務理事。
SKAL International Tokyo、
Professionnels du Tourisme 会員。
JARC、日本宿泊施設関連連合会
アドバイザーボードメンバー。

www.jhrca.com/worldhotel/?cat42
www.hoterresonline.com
<https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16>

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままに撮ってきた写真を掲載する。

Belmond Hotel Das Cataratas

世界最大の瀑布イグアスの滝は、ブラジルとアルゼンチンの国境に接している。ベルモンド ダス カタラタス「Belmond Hotel Das Cataratas」はイグアス国立公園内ブラジル側にある唯一のホテルで、ポルトガル・コロニアル様式の建物は優美で印象的だ。熱帯雨林のジャングルに建つ歴史のホテルは、迫力溢れるイグアスの滝が目前に迫る抜群のロケーションを誇る。ホテルの庭園前から始まる遊歩道は良く整備され、宿泊ゲストはほんの数十分足を運ぶだけで壮大なイグアス滝のハイライト「悪魔の喉笛」に到

達できる。また、国立公園の閉園後から翌朝の開園まで、一般観光客の去った後の静寂の時間にゲストの特典として散策が可能である。

イグアスの滝は先住民の言葉で「大なる水」「Y Guazú」を意味し、北米のナイアガラの滝、アフリカのヴィクトリアの滝と並び、世界三大瀑布に数えられている。それぞれの滝に魅力があるが、スケールの大きさ、ダイナミックな迫力は他の二つの瀑布とはケタが違う。イグアスの滝は大小275の滝があり、最大落差約80メートル、滝幅はなんと約4キロもある。

ホテルの名称である「カタラタス」とは「滝」を意味し、1958



カジュアルダイニング「Ipe Grill」は庭園にあるスイミングプールに面した戸建てのレストランで、地元食材のビュフェスタイルが人気だ



夕刻から暖炉に火が灯る優雅なロビーラウンジ



広々とした野外スイミングプール



「Junior Cataratas Suite」のバルコニーから望むイグアスの滝



スパ施設「Cataratas Spa」のレセプションデスク



専用のバスタブを備えたスパスイート。全5室のトリートメントルームは癒やしの空間である

年に竣工した。2007年から Orient-Express Hotels 社によりリノベーションが始められ、14年から Belmond Ltd に経営が引き継がれている。淡いピンクに彩色されたホテルはスイートを含む全193室を擁し、モノトーンの樹林帯に美しく溶け込んでいる。今回はイグアスの滝を部屋から望む「Junior Cataratas Suite」をご紹介したい。約40㎡の広さで「Cataratas」の文字通り、バルコニーから轟音が迫る滝を俯瞰する Jr. 스위트だ。レストラン「Itaipu Restaurant」はディナー専用のシグネチャーダイニングで、優雅な雰囲気の中、フレンチベースのブラジル料理を堪能できる。カジュアルダイニング「Ipe Grill」はスイミングプールに面した戸

建ての庭園レストランで、地元食材のビュフェスタイルが人気だ。スパ施設「Cataratas Spa」はスパスイート2室を含む全5室のトリートメントルームを持つ癒やしの空間である。今回、ホテル側からカシャーサ「Cachaça」のテイスティングに招待された。カシャーサとは、サトウキビを原料として作られるブラジル原産の蒸留酒であり、ポルトガル統治時代からの民族酒である。ホテルとしては初の試みで、単にテイスティングのみならず、チーフソムリエ氏がカシャーサの歴史を解説し、メインバー「Bar Taroba」の一角を占有して特別な講義形式で歓待していただいた。



レストラン「Itaipu Restaurant」はディナー専用のシグネチャーダイニングで、優雅な雰囲気の中、フレンチベースのブラジル料理を堪能できる



コロニアルスタイルのメインバー「Bar Taroba」。カウンター席の照明が美しい



シグネチャーダイニング「Itaipu Restaurant」の特別ルーム



今回、ホテル側からカシャーサ「Cachaça」のテイスティングに招待された。カシャーサとは、サトウキビを原料として作られるブラジル原産の蒸留酒であり、ポルトガル統治時代からの民族酒である



ホテルとしては初の試みで、単にテイスティングのみならず、チーフソムリエ氏がカシャーサの歴史を解説し、メインバー「Bar Taroba」の一角を占有して特別な講義形式で歓待していただいた